

EN ISO 374-5ウイルスおよびASTM F 1671規格の概要

新型コロナウイルス感染症を引き起こすウイルスのような、ウイルス保護手袋を選定する時、適切で確実な保護のためにどのような規制基準が存在するかを確認しましょう。

欧州連合では、EN ISO 374-5 VIRUS 規格が、バクテリア、菌類およびウイルスから着用者を守る手袋性能を規定しています。パッケージにEN 374-5 VIRUS マークが付いている手袋は、EN 374-2:2014 に準じた試験で対漏出防護性能が証明されています。

北米では、手袋の微生物からの保護性は ASTM F 1671で定義されています。ISO 16603/16604 と同様に、バクテリオファージを試験チャンバーの片側に加え、一定の時間、圧力かけます。この試験では、ウイルスなどの微生物が手袋を透過するかを測定します。

微生物からの 防護手袋

欧州連合では、手袋は、EN 374-2:2014 に準じた対漏出防護性能試験に合格する必要があります。手袋がISO 16604:2004 試験（手法B）に合格すれば、ウイルスからの保護を謳うことができる点が追加されました。

北米では、細菌やウイルスなどの微生物からの保護性能認定を得るには、手袋は ASTM F 1671合否試験で合格する必要があります。

細菌とウイルスの違い

細菌の大きさ



ウイルスの大きさ



細菌の大きさは、通常 1~10 ミクロンです。一方、ウイルスは、細菌の10分の1~100 分の1の大きさです。

非常に微小なウイルスは、通常の防護手袋のピンホールを簡単に透過できます。しかし、EN 374-5 VIRUS または ASTM F 1671 規格に準拠する手袋は、微小なウイルスに対しても効果的なバリアとして機能することが認証されています。

EN ISO 374-5:2016



EN ISO 374-5:
バクテリアや菌類から保護
する手袋

EN ISO 374-5:2016



VIRUS
ASTM F 1671
EN 374-5 VIRUS または
ASTM F 1671規格に準拠する
手袋に対して、さらに微小
なウイルスからの保護性能を
試験します

手袋着用におけるベストプラクティス



手袋の着用前、手袋を外した後に、20秒間、石鹸と水で手を洗います



曝露リスクを低減するため、指と手首の周りにぴったりとフィットする手袋を着用してください



使い捨て手袋または検査・検診用手袋を再利用したり、洗浄したりしないでください



破損している、または汚れが見える手袋は絶対に使用しないでください



手袋着用中に顔を触らないでください

➡ Ansell.com で、世界の PPE 規制に関する最新情報や、ウイルス曝露からの保護が認証された全製品をご覧ください。